

オリナス
orinas

京都大原記念病院グループ 広報誌

vol.17 / 2026.04

あしたを、
あなたらしいに。



特集

私たちの変わらない想い

「新病院移転建築工事」着工

Kyoto Ohara Memorial Hospital Group

私たち(京都大原記念病院)を表す、ことば。

挑戦の礎になる、変わらない想い。

ブランドビジュアル



あしたを、
あなたらしいに。

1984年に本格的にリハビリテーション医療を導入して以来、40年以上にわたりリハビリテーション専門病院として歩みを続けてきました。グループとして介護施設や在宅医療・介護サービスまで展開し、大学病院や赤十字病院などの高度急性期病院と密接に連携しながら、京都の地域医療に貢献してきました。長年の実績を礎に、京都大原記念病院は河原町今出川(旧伏見宮邸跡)に、新病院を開設します。

病院施設の生まれ変わりとともに、さまざまな挑戦(変化)も形にしていきます。同時に、変えてはならない現場のゆるぎない想いがあります。その想いを、新病院の開設という大きな節目を機にあらためて見つめ直し、言葉にしました。

「あしたを、あなたらしいに。」
この言葉に込めた物語を、これからお伝えしていきます。

タグライン&ステートメント

あしたを、
あなたらしいに。

「自分らしく」

私たちの仕事は、この5文字に込められた真の意味と向き合うことから始まります。

病と向き合う。

前を向けず、後ろを向いてしまうことだってある。それでも、救われた命から湧き出る

「自分らしくありたい」

そう強く願う想いが、やがて力になることを、私たちは誰よりも知っています。

だからこそ、あしたのかたち、をていねいに描く。

その一歩に必要なのは、

「あなたのあした」を大切にすること。

向き合って向き合って、考えて考えて。

もっと何かできるはず。

想いがかたちになるまで、

私たちは挑みつづける。

一人ひとりの「こう生きたい」に向き合う医療へ。

時に、医療の枠を超えて、

地域や社会、

京都という地の息づかいに力を借りながら、

人が、いちばん自分らしくあろうとする時間を、

私たちは共にする。

「自分らしく生きるこころ」までも支えたい。

私たちは、京都大原記念病院です。

「手」と「組紐」をモチーフに

患者様の手を取る医療者も、同じ方向を見つめています。患者様に、病前の自分に完全に戻るのではなく、新しい人生の幕が開いたと前向きに受け止めていただける支援を目指す。医療者と患者様の想い、病前と病後の患者様の人生、それらは別物ではない。そうした想いを込め、グループカラーのネイビーを軸に近い色の組紐で結びつきや、願いが叶う意味を持つ「叶結び」を表現しました。背景には、木々や水面を思わせる自然の揺らめきをあしらっています。

よりそう心を宣言するタグライン&ステートメント

京都大原記念病院が掲げる、すべての人への宣言です。目に見えない心情まで捉え、入院という非日常の先にある“あした”が、その人らしく穏やかに続くようによりそう存在でありたいという価値観を表現しました。医療や病院と言いつら、シンプルでわかりやすい言葉でまとめ、職員一人ひとりが自分の言葉として掲げ、患者様、ご家族、そして職員それぞれが「自分らしく」「あなたらしく」あるようにという想いを込めています。



最後の最後までメンバーで考えた

このストーリーを
ご紹介
特設サイトへ



多職種で紡いだ病院の「価値観」。

病院の魅力を言葉にする――。
 そんなミッションを掲げ、職種や年代の枠を超えたメンバー10名が集まったのが「魅力★見える化Lab. (通称:見えラボ)」です。
 2025年4月の発足から約1年間、月に一度、幅広いテーマの議論を積み重ねました。

活動の核心は、自分たちの「こうありたい」という価値観を見える化することにあります。看護師やセラピストなど、専門性は異なっても、根底にある患者様への思いや仕事への姿勢は共通しています。多職種が膝を突き合わせて対話を繰り返すことで、タグライン「あしたを、あなたらしいに。」と、それに付随するステートメントを完成させました。

制作過程は決して容易ではなく、正解がない議論の難しさに直面し、時にはどこに向かっている

の分からないような霧の中を歩く苦しさを味わう時期もありました。多くの候補から一つのタグラインを決定する際にも、それぞれの感覚や思いがぶつかり合い、粘り強いディスカッションが繰り返されました。
 こうして紡がれたメッセージには、患者様への願いだけでなく、職員自身も自分らしくありたいという決意が込められています。単なるスローガンではなく、各部署での対話を経て多職種の想いを汲み取ったからこそ、組織としての確固たる実感が伴っています。

一人ひとりの豊かな未来を共に形づくっていくために

新病院の開設という節目を迎え、私たちは自分たちの想いを示すタグライン「あしたを、あなたらしいに。」を策定しました。この言葉には、単なる病気の治療やリハビリに留まらず、患者様が住み慣れた場所で「その人らしい人生や生活」を取り戻せるよう、心身両面から寄り添い続けたいという決意が込められています。これは現場の多職種スタッフが一年かけて議論し、自分たちの強みを見つめ直して辿り着いた答えです。

私たちは、皆様から「大原に任せれば安心」と信頼いただける存在であり続けるため、一人ひとりの豊かな未来を共に形づくっていく姿勢を大切にまいります。



京都大原記念病院 院長 児玉 直俊

順天堂大学医学部卒。初期臨床研修修了後、市中病院および京都府立医科大学付属病院で循環器診療に従事。その後、市内の回復期リハビリテーション病院や同大学リハビリテーション医学教室を経て、2018年京都近衛リハビリテーション病院院長補佐に就任。2022年10月 同 院長に就任。2025年4月より現職。

新病院の開設という大きな節目を控える今、設備や環境は新しくなっても、これまで大切にしてきた「活気」や「患者様の人生を尊重する芯の部分」は変わりませぬ。自分たちのアイデンティティを再定義したこの1年は、新病院においても「中身まで素敵な、元気になる病院」であり続けるための、揺るぎない土台となりました。



様々な意見が飛び交う



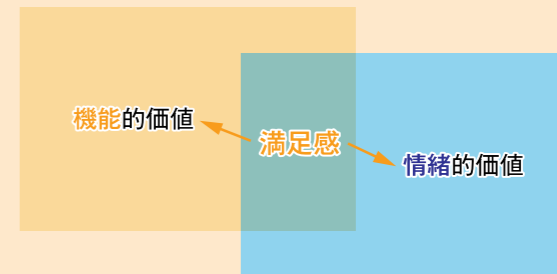
考えたことをアウトプットして議論



具体的な表現にまた迷う

患者さんの満足感を高めるために

患者にとって最高のリハ成果を出す(機能的価値)ことができても、心を支え、満たすような取り組み(情緒的価値)がなければ、選ばれ続ける存在にはなり得ない。ただし、機能的価値があつてこそその情緒的価値であるのではないか?



理念から生まれる 5つの患者満足(≒価値)、20のファクト

- ・共感 | がんばろうと思える関わり
- ・ボリューム
- ・丁寧なプロセス(チーム連携含む)
- ・病棟リハ | 1日3時間以外の過ごし方
- ・豊富なプログラム・設備(該当)
- ・豊富な短期集中プログラム

- ・安心・安全の食事提供
- ・おいしい食事
- ・タンパク質強化
- ・管理栄養士全員担当



- ・あいさつ
- ・入院生活支援
- ・おもてなし※近衛から始動
- ・職種間連携(退院時指導)
- ・グループ内連携
- ・グループ外医療機関との密接な連携
- ・実務者連携
- ・四季を楽しむ(患者 家族)
- ・四季を感じられる治療
- ・実社会との接点



事務

セラピスト

医事課

セラピスト

管理栄養士

医療連携室
看護師

病棟看護師

医療ソーシャル
ワーカー

介護福祉士

医師

2028年早春の開院を目指して着工



大文字山を望む ※完成予想図はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

3月2日(月)、京都市上京区梶井町にて「(仮称)新京都大原記念病院 起工式」が執り行われました。土地を所有する真宗大谷派の導きのもと、京都大原記念病院グループの関係者をはじめ、建築・施工業者ら約40名が参列。今後約2年におよぶ工期の安全を祈願しました。



移転の意義を述べる児玉博行代表

式のあいさつで、京都大原記念病院グループ代表児玉博行は、「移転に伴い、既に連携を深めている京都府立医科大学、京都大学の両附属病院、京都第一、第二赤十字病院との連携がより密接に、より効率的になる」

と事業の意義に触れ、「京都の地域医療、そして住民の健康を支えて行きたい」と意気込みを語りました。

移転予定地は、旧伏見宮家の邸宅跡地であり、鴨川沿いに位置する一等地でありながら、様々なトラブルを抱えて荒廃が進み、「市内最大の廃屋」と呼ばれてきた場所。前の所有者の「歴史あるこの地を公に還したい」という遺志を汲み、公益事業への活用が模索されて土地の一部には「ドナルド・マクドナルド・ハウス京都(運営:公益財団



勤入れの儀 一幕



式に臨む(左から)児玉直俊副理事長、児玉博行代表

法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン、本部「東京」の誘致が決定。残る土地活用事業のプロポーサル公募に、京都大原記念病院の移転計画が採択される形で縁が繋がったものです。こうした背景もあり、新病院の開設は念願とも言える縁であったと歓迎の言葉も上がりました。工事は3月16日(月)に着工しました。今後約2年の工期を経て28年早春の開院を目指します。

最新情報はこちら
新・京都大原記念病院プロジェクト
Instagram

〈建築工事 今後の工程〉

- 2026年 3月 着工
- 10月 鉄骨建方
- 2027年 4月 躯体上棟
- 2028年 1月 竣工
- 早春 開院目標

※2026年3月時点の予定



景観に配慮した階段状の構造



特例を受けて実現する地上5階建て



鴨川との出入りが可能



鴨川沿いの好ロケーション



参列者による記念撮影



京都大原記念病院グループ
KYOTO OHARA HUMAN CARE NETWORK

LINE公式アカウントお友だち募集中!

- こんな情報をお届けしています!
- 1 広報誌 **orinas**
 - 2 おおはら健康かわらばん
 - 3 イベント開催情報
 - 4 メディア出演情報



本誌「オリナス」についてのアンケートを実施しています。



orinas
オリナス
について

患者様、ご利用者、ご家族の心に寄り添い不安を取り除くために、職種や組織、医療や介護の枠にとらわれず、人や地域と織りなすつながりのなかで生まれる様々な場を季節ごとに紹介します。

お問い合わせ

TEL / 075-744-3121 (代表)
FAX / 075-744-3126
MAIL / kouhou@kyotoohara-gr.jp



WEB



Facebook



Instagram

新病院に向けて
積極採用中!